

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年6月27日

仕事の内容	シルバー人材センター運営・補助事業				
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	事業 14 公益社団法人東大和市シルバー人材センター
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 公益社団法人東大和市シルバー人材センター		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 公益社団法人東大和市シルバー人材センターの登録者数	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者の就労の場の確保に結びつける。		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 賃金総額	
	③ そのために何をしましたか。 公益社団法人東大和市シルバー人材センターに対して、運営に係る経費を補助する。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 市補助金額	

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	568	589	645	
	成果指標	②の数値	円	240,867,010	244,027,792	222,839,503	
	目 標	②の目標値	円			250,000,000	250,000,000
		目標値設定の考え方	賃金総額の増により、登録者の就業確保の機会を図る。				
活動指標	③の数値	円	37,017,000	37,646,000	37,463,411	37,752,000	

3 経費	事業費(実績)		円	37,017,000	37,646,000	37,463,411	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	25,720,000	26,219,000	26,036,411	
		特定財源	円	11,297,000	11,427,000	11,427,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.15	0.15	0.15	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,234,950	1,240,050	1,237,950		
事業費+人件費		円	38,251,950	38,886,050	38,701,361		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 「高齢者の雇用の安定に関する法律」に基づき、昭和54年5月29日に(社)シルバー人材センター東大和市高齢者事業団として設置され、平成23年4月1日から公益社団法人として認定された。市補助金については、交付要綱を制定している。(昭和57年4月1日施行)シルバー人材センターは、一般雇用に馴染まないが働く意欲を持っている健康な高齢者の就業機会を確保することや高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを主な目的としている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成29年度は引き続き会員数が増加したが、超高齢化社会を迎え、年金受給ができる65歳まで企業等で働くことが一般化した影響により、会員の確保は引き続き課題となっている。会員を拡大するとともに、市場のニーズに応える事業の展開が求められる。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民にもわかりやすい決算資料や事業報告等の整備や透明性の確保が求められている。
-------------	---

仕 事 の 内 容	シルバー人材センター運営・補助事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)					
	取り組んだ	取組手法	⑤補助・助成 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。						
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。					
	就業機会の拡大や、新規事業の展開等の事業拡大					
(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。						
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	就業機会の拡大や、新規事業の展開等の事業拡大について、シルバー人材センターが一層取組みを強化するよう求めていく。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー派遣事業に関する営業活動 ・市報、チラシ以外での広報 ・既に受注実績がある分野の深耕拡大 						
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	